

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No.1 * *

— 西島牧沖における初漁の漁獲物を測定 —

道総研 中央水産試験場 資源管理部

後志地区水産技術普及指導所 岩内支所

主群は漁獲適正サイズに到達

調査の概要

2017年4月22日に西島牧海域においてコウナゴの初漁がありました。今年は今時化が続き、例年実施している漁期前調査ができないまま、昨年（4月17日）より5日遅い初漁を迎えました。初漁の漁獲物から採集していただいた標本を測定しましたので、結果をお知らせします。調査にご協力いただいた関係者の皆さま、ありがとうございました。

体長組成の特徴

上の図が今年の初漁におけるコウナゴの体長組成です。コウナゴの体長は26mmが最も多く、22～24mmもやや多くなっていました。これらの主群はすでに漁獲適正サイズ（22mm以上）に達していました。下の図に示した昨年と比べると、26mm以上の大型個体が多いことが分かります。また、今回の漁獲物にはまだ目立っていない体長15～20mmのサイズも来週中には適正サイズまで成長すると予測されます。したがって、4月下旬のうちに本格的な漁期に入ると予想されます。

今後の漁獲量や漁獲物の体長組成の変化を注視していきたいと思っておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

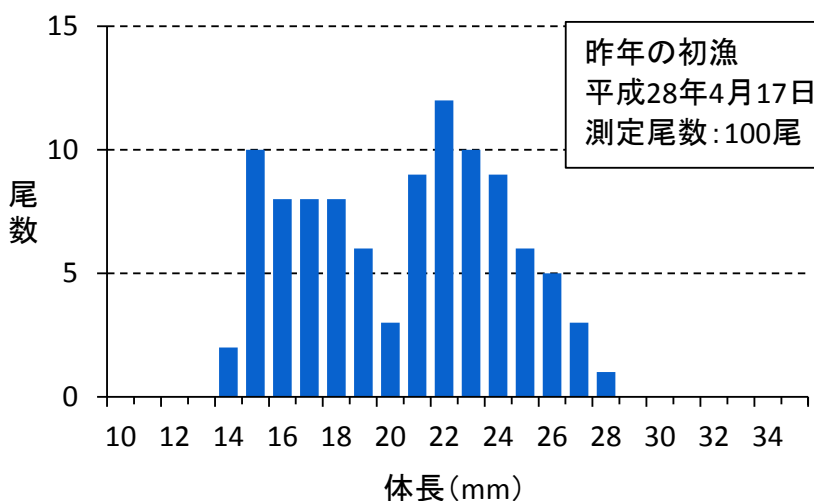
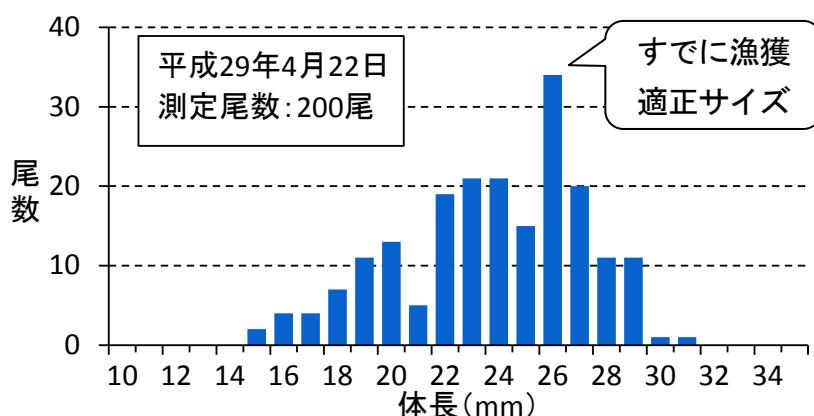


図 今年の初漁(上)と昨年の初漁(下)の体長組成